

【連載】**こども**
すくすく
カルテ
19



今月の先生：松久充子先生
医療法人 橘桜会
さくら眼科 院長

幼児の目 ① 弱視について

こどもの目の病気は、他の病気に比べて見逃しがちです。その理由のひとつには、小さなこどもには、自分の目の異常に気づくことがとても難しく、このことがあげられます。ですから、毎日の生活のこづから「視線が合っているか」や「テレビに近づきすぎているか」など、親が気付いてあげる必要があります。今回お話しする弱視は、大人に成長してからでも、大きな影響を及ぼします。ぜひ、注意してほしいのです。



【図-1】

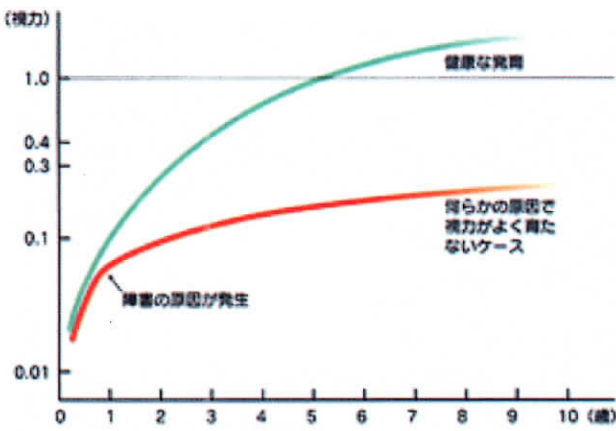


図1 視力の発達と弱視の発生

子供の視機能の発達とは？

視力は、ことばや歩行などと同じく、成長に伴って獲得していく能力で、生まれてから6歳くらいが、この発達時期（視覚感受性期間といえます）です。視力は、目から入ってきたものを映す網膜の中心部に、ピントが合った映像が映ることによって発達し、立体的に見える力は、斜視のない両眼で見ることで発達していきます。

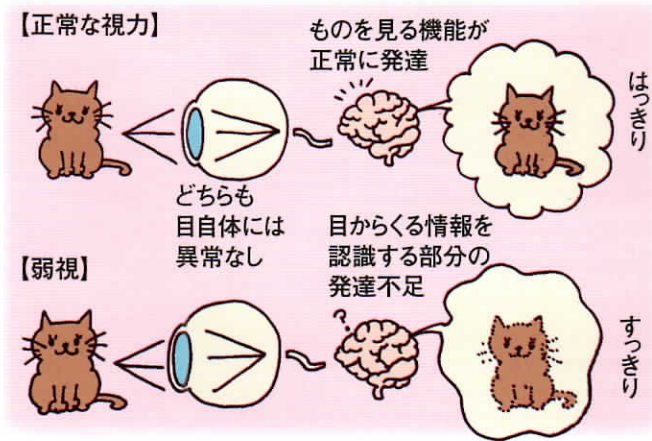
出生時の視力は、光の強弱を感じる程度（0.0・2くらいですが、生後2〜3週で見つめ、6カ月で母親

弱視のことを知ろう！

の笑顔を見るようになり、視力も0.2ほどになります。その後1歳で0.3〜0.4、2歳で0.5、4歳ころには1.0と発達していきます。立体的に見える力は生後6カ月くらいで完成します。

視力が発達する時期に、ちゃんとピントの合った映像が網膜に映たないと、視力の発達が止まったり遅れたりして、弱視になってしまいます（図1）。

医学的には「視力の発達が障がいされておきた低視力」のことを弱視



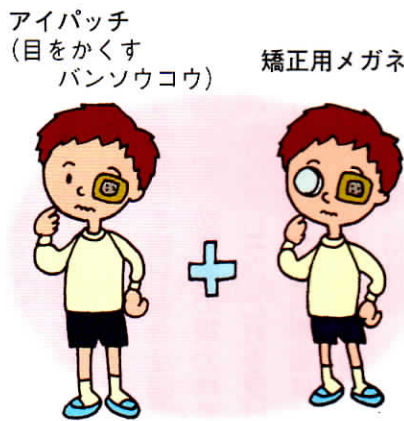
といえます。目に器質的な異常はないのですが、弱視のまま成長すると、その後、眼鏡やコンタクトレンズを装用するなど矯正をしても、視力が1.0まででません。視力1.0未満では、取得できない資格や就くことができない職業がたくさんあります。また、立体的に見る力も不足するため、十分な運動機能を発揮できない、3Dが実感できないなど、生涯にわたって様々な不利益を被ることになります。

弱視の原因と治療は？

弱視の原因は、強い遠視や乱視などによりおこる屈折異常、斜視、先天性白内障、先天性眼瞼下垂（がんけんかすい）や一時的な眼帯（視性刺激遮断）などがあります。これらが原因の場合、視力の発達期間中に弱視を見つけてあげて治療をすれば、視力1.0を獲得することができます。場合がほとんどです。特に3〜4歳に治療を開始すれば、小学校の就学前に弱視治療を完了することができます。小学校に通ってからになると、治療効果の表れが遅いため、治療の進行が遅くなり、視力1.0

まで到達できない場合がよくあります。

弱視の治療は、斜視、先天性白内障や眼瞼下垂など原因となっている疾患がある場合は、その治療をします。強い遠視や乱視による屈折異常が原因の場合は、適切な度数の眼鏡を常用してすることで網膜にピントのあつた映像を写すようにしていきます。また片眼が弱視の場合には、1日3〜4時間くらいを目安に視力の良い方の目にアイパッチをし、弱視のある眼を余分に使用させる



ようにします。

2006年から弱視治療用眼鏡の購入費の7割は健康保険適応となり、5歳未満では1年に1回、5歳

以上9歳未満では2年に1回支給されることになりました。現代では、弱視治療を開始するにあたって最も適切な3〜4歳からの治療環境が整備されています。

こどもの弱視を発見しましょう

生後6カ月以内に発症した乳児内斜視や、いつも視線が外側に向かっている恒常性外斜視、生後6カ月頃から出現する強度の遠視による調節性内斜視などは、目つきがおかしいなど見た目の異常から、保護者や3カ月健診・1歳児健診の時に見つけることができます。しかし、中等度〜高度の遠視や乱視、不同視（左右の度数差が大きいことです）による弱視は保護者もまったく気付いていないことがほとんどで、視力検査以外に発見する方法がありません。

視力検査の最初の機会は3歳児健診で、1991年から視力検査が開始されました。自宅に郵送された視力検査キットを用いて、保護者が事前に検査をして0.5未満を報告するというものです。しかし、一般的に視力検査を行うには3歳児では若干成熟度が不足していることなどもあつ

てか、保護者によっては実施していない、実施したがよく分からなかったという方も多いようです。

例えば静岡市の2007年度3歳児健診では、対象児5702人中（受診率92.7%）眼科を紹介された児は30人（0.53%）による受診勧告でした。この3歳児が年中児になった時期に実施した公立保育園年中児の視力検査では、1190人中（検査率94%）、受診率72%で様々な疾患の要治療児49人（4.1%）、弱視治療開始児15人（1.3%）でした。この結果から2007年の3歳児健診時には約80人いたはずの弱視児の大半は発見されていなかったということになります。

しかし、2015年8月から、静岡市では政令指定都市で初めて3歳児眼科健診に、遠視・近視・乱視などの屈折度数を測定する他覚的屈折検査機器を導入しました。これにより視能訓練士（医師の指示の下で、目に関する検査や目の機能を回復するための訓練をします）の参加、問診票の改善を実施し、275%（98名）の異常を発見できるようになり早期

園児視覚検査に必要な検査器具

ランドル環単独指標5m用

縦や横の向きを明確に示すことができる際活計の形状で、裏側にそれぞれの視力が記載されています。



ハンドル

こどもが方向を伝えるために手に持って使います。検査がスムーズです。



ウインクめがね
ツマミをくると回すだけで視力検査ができます。



発見・早期治療が可能になりました。すり抜けは、3歳児眼科健診で異常を指摘されても受診しなかった場合、発達障害等で3歳児健診では検査不十分だった場合などとなりますが、軽度の弱視が残されるので、園児の視力検査で発見して、治療に結び付ける必要があります。

園児の健康診断…視力検査など

公的な視力検査の機会は3歳児健診の次は就学時健診ですので、この間の幼稚園保育園児の視力検査は、弱視の発見に大変重要な役割を担っています。学校保健安全法では、幼稚園健康診断で視力検査を実施することになっています。

2008年の日本眼科医会全国アンケート調査で、幼稚園の視力検査実施率は48.3%でした。これを受けて2010年3月、文部科学省は幼稚園で視力検査を実施するようにと通達を出しました。幼稚園

で視力検査が実施される割合が少ないのは視力検査の方法とその重要性が知られていないことが原因です。

しかし、養護教諭・教諭・保育士による裸眼視力検査は実施可能です。日本眼科医会では「園児の視力測定マニュアル」を作成して希望の園に地元の眼科施設での視力検査実地指導を行っています(図2・3)。検査器具は学校で用いる字つ



園児の視力測定マニュアルは下記よりダウンロードいただけます。
http://www.sakura-shizuoka.jp/doc/20110322_manual_1.pdf

やもじ)を用いると検査精度が低下しますので、字ひとつつ視力票と眼科で視力検査に用いる眼鏡枠を用います。初期投資金額はおよそ8000円です。
静岡市では、2010年度にはこの方法より90%あまりの幼稚園保育園で視力検査が実施されるようになりました。子供の視力発達は社会の財産です。すべての幼稚園において視力検査を実施していただき、弱視児を発見治療して正常(1.0)な視力に育てていきたいものです。

求人広告を

・メリット-1

20~60代を中心に、幅広い読者層を持って雑誌です。

掲載しませんか？

・メリット-2

公共施設、病院、診療所、金融機関、スポーツ施設、幼稚園や保育園などに幅広く配布されています。

お問合せ...

054-353-0600

〒424-0821
静岡市清水区相生町6番17号
静岡市清水産業・情報プラザ7階